



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 16, January 2017

Newsletter



年頭の挨拶

公益財団法人日本学術協力財団

会長 吉川 弘之



新しい年を迎え、改めて連続して生じた昨年の出来事を考えています。シリアとスーダンでの内戦が終息の可能性を見せないまま、EUの分裂の可能性や米国の孤立政策など、何か不穏な国際的変動を予感させます。難民の問題、テロの地域的拡大は、人類にとって国家を超えた新しい経験です。これらの相互に複雑に関係する困難な状況の説明、解決について、焦点が全く定まらない状況の中での科学コミュニティの役割は何か、それはまだ議論すら始まっていません。

長い歴史を通じて科学は人類に繁栄と安全とをもたらす大きな貢献をしてきたのであり、特に近年は科学の持つリスクにも対応してきたといえます。科学的成果の使用と関係がある地球温暖化、環境劣化、資源・エネルギー源枯渇など人類にとって未経験の問題について、現象発見、原因究明、そしてその解決方法の提案を、科学的な研究によって導出した経過を見れば、科学的方法の有効性を示すとともに、科学者の努力が正しかったことが理解されます。

それならば今、予測される不穏な国際的変化に対しても、科学が対応することが求められているのではないかと。しかし、それらは国家、民族、宗教などの、物理的視点では捉えられない社会的な要因も関係しあひ、学問的にも広範な領域がかかわる複雑な問題であって、新しい方法が必要なことは自明です。

this issue

年頭の挨拶

新しい『学術の動向』について
データベース「学会名鑑」について
公開講演会開催に対する支援
寄附金及び賛助会費の税額控除
学術会議叢書23発刊について
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2017年1月1日発行

原因究明が必要なことは言うまでもありませんが、問題は緊急でありそれに並行して解決法が必要です。そのためには地球温暖化を止めるという何十年がかりの事業に加え、地域による多様性をはらむ日常的な困難の一つ一つを解決する方法も必要です。昨年、国連が提出した一見常識的な問題群、持続的発展目標（SDGs）は、緊急対応という立場に立つ新しい哲学に基づく政策提案であり、これに対して科学コミュニティが答えることが求められています。しかし、分科した科学の各領域の個別の解法の集積では答えにならないことを知るべきです。それは分科を超えた科学者の協力、さらにはその行為を通じて領域化された科学を覆う、現実との対応を回復した新しい科学の創出への努力が必要です。日本学術会議をはじめ、すべての分野の科学者が緊急にこの議論を始めることを期待します。

新しい『学術の動向』について

—本年4月号スタートに向けて準備が進んでいます。

新しい『学術の動向』は本年4月号からスタートする予定ですが、編集委員会の下で、新しい特集記事「科学と社会」の具体的な検討も精力的に進んでおり、さらに、新しいコンテンツ「学術における世界の潮流」や「エッセイ」の準備も今後進めてまいります。

「エッセイ」においては、「科学と社会」、「学術からの発信」、「学術の今日と明日」、「私が研究者になるまで」、「随筆」、「新刊紹介」、「書評」等のコーナーを設ける予定です。

これらの新しいコンテンツについては、早いものは、本年4月号を待たずに掲載いたします。

以上の新しい企画により、『学術の動向』を学術と社会のインターアクションを実現するメディアとして一層魅力あるものにしてまいります。

新しい『学術の動向』にご期待ください。

データベース学会名鑑について

データベース学会名鑑は、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構、公益財団法人日本学術協力財団の協力の下、平成23年7月より運営してまいりましたが、掲載情報の拡充及び操作性の向上等を目的として、平成28年3月31日にウェブサイト进行全面リニューアルいたしました。

新学会名鑑に掲載する学協会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、そのデータ内容は、日本学術会議が行う実態調査を基としています。現在、平成28年度実態調査のデータを、2月末の公開を目指し、鋭意、作業をすすめています。

各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

日本学術会議地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行いました。

◎ 中国・四国地区会議「農学的視点からの地方創生・活性化への挑戦」

平成28年10月8日（土） 於：岡山大学

◎ 近畿地区会議「アフリカの進化と文化—われわれがアフリカから学ぶこと」

平成28年10月15日（土） 於：京都大学

◎ 中部地区会議「生命・環境・ものづくり—基礎科学からの発信」

平成28年12月2日（金） 於：岐阜大学

◎ 東北地区会議「大学を通じた地方創生—山形の「知・技術・ひと」の融合による産業イノベーション」

平成28年12月13日（火） 於：山形大学



寄附金及び賛助会費の税額控除について

財団は、2013年4月1日に公益財団法人として再出発いたしました。

再出発に当たり、各種規定の新設及び改正を行うなど公益財団法人としての基盤を整備するとともに、賛助会費・寄附金等の税額控除の規定の適用について申請を行いました。

賛助会費・寄附金等の税額控除につきましては、2013年6月4日に認可が下り、同日以降の財団に対する寄附金・賛助会費につきましては、特定公益増進法人への寄附金として、確定申告により税額控除等の税制上の優遇措置が受けられることとなりました。

個人の方の財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の**税額控除**または**所得控除**のいずれかを選択して受けることができます。

また、本年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合は、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄付金に係る損金算入限度額に算入できます。

昨年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、来年の確定申告の際に必要な領収証等を、昨年12月初旬頃から順次お送りいたしました。確定申告の際にご使用ください。なお、書類が未着の場合は、ご一報ください。

(本年1月以降に賛助会費をお振込みいただいた場合は、本年12月初旬頃に書類を送付する予定です。)

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

学術会議叢書 23

『子どもの健康を育むために—医療と教育のギャップを克服する(仮)』の発刊(予定)について

財団では、毎年、学術図書として『学術会議叢書』を発刊しています。平成28年度は「子どもの健康を育むために—医療と教育のギャップを克服する(仮)」と題し、発刊を予定しています。

内容は『学術の動向』2011年4月に特集として組まれたものを基に、最新のデータを加え、構成されています。

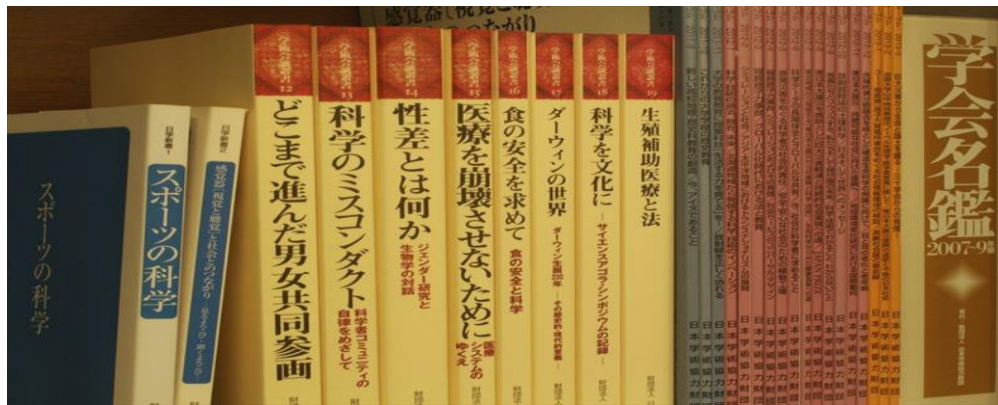
現在、3月の発刊を目指して、鋭意、作業を行っています。是非、ご期待ください。

なお、この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成を頂き、全国約1,500ヶ所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

【執筆予定者】

- | | |
|--------|--------|
| ・大西 隆 | ・神尾陽子 |
| ・大川 匡子 | ・駒田陽子 |
| ・菅原ますみ | ・阿部 彩 |
| ・小林章雄 | ・桃井真理子 |
| ・児玉浩子 | ・山中龍宏 |
| ・水野雅文 | ・衛藤 隆 |
| ・水田祥代 | ・原 寿郎 |
| ・丹羽 登 | ・納富恵子 |

(敬称略)



出版物のご案内 ※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円＋税 (送料込)
 年間購読 8,230 円 (税・送料込)
 賛助会員は無料配布

- '16 年 10 月号 日本の戦略としての学術・科学技術における男女共同参画
 —「第4次男女共同参画基本計画」との関わりで—
 若手研究者養成とジェンダー
- 11 月号 防災学術連携体の設立と取組
- 12 月号 日本社会のグランドデザイン—将来像と制度改革
 21 世紀社会における日本のエレクトロニクス分野の展望
 家族のあり方を改めて考える—最高裁大法廷判決から—

学術会議叢書 A5 判・本体価格 1,800 円＋税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 1,750 円 (税・送料込)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理 (品切れ) | 13 科学のミコンダクト (品切れ) |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 14 性差とは何か (品切れ) |
| 3 男女共同参画社会 (品切れ) | 15 医療を崩壊させないために
(品切れ) |
| 4 エネルギー学を考える (品切れ) | 16 食の安全を求めて |
| 5 多発する事故から何を学ぶか (品切れ) | 17 ダーウィンの世界 |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命 (品切れ) | 18 科学を文化に |
| 7 先端科学技術と法 (品切れ) | 19 生殖補助医療と法 (品切れ) |
| 8 食の安全と安心を守る (品切れ) | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 9 医療事故は予防できるか | 21 高レベル放射性廃棄物の
最終処分について |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか (品切れ) | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 11 舞踊と身体表現 | |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円＋税 (送料別)
 賛助会員は割引価格 730 円 (税・送料込)

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学— (品切れ)

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約 2,000 の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記 URL からいつでもご覧いただけます。

<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

公益財団法人日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>